

2017年5月25日の経営会議の概要

日時	：2017年5月25日（木）	午前9時～午前10時10分
会場	：政策会議室	
委員・幹事	：市長、高橋副市長、山田副市長、教育長、政策経営部長、経営改革室長、総務部長、財務部長、広報担当部長、企画政策課長、企画政策課未来づくりプロジェクト担当課長、企画政策課政策研究担当課長、秘書課長、広報課長、総務課長、法制課長、職員課長、財政課長	
説明：議題1	経済観光部長、産業観光課長、産業観光課観光まちづくり担当課長、産業観光課担当課長	
議題2	学校教育部長、教育総務課長、教育総務課担当課長、生涯学習部長、生涯学習総務課長、生涯学習総務課担当課長	

議題1：町田市観光まちづくり基本方針の策定について（経済観光部）

【付議の目的】

○町田市観光まちづくり基本方針について、最終案の承認を受ける。

【提案の概要】

近年「観光」に対するニーズが多様化し、「名所や旧跡を巡る観光」に加え、「その地域ならではの体験や地域の人との交流を楽しむ観光」へと志向が広がってきた。「観光」を切り口に、人の交流を増やし、地域活性化・経済活性化を図るための指針として町田市観光まちづくり基本方針を策定する。

本方針は、町田市の目指す「観光まちづくり」を定義付けするとともに、2030年までに目指すべき将来像『～友を招き、歩きたいまち～「住んでよし、訪れてよし、交流感動都市まちだ』とその実現のための3つの基本施策「町田ならではの地域素材の洗い出し・磨き上げ」、「観光まちづくりの担い手と態勢づくり」、「地域素材が持つ魅力の伝達と交流の拡大」で構成する。

また、町田市の目指す将来像の実現に向けて、取り組みを段階的に進めていく上での道しるべとなる短期・中期・長期の達成目標を設定するとともに、「町田市観光まちづくり推進委員会」で具体的な数値目標の設定や、進捗状況の確認を行い、本方針を推進していく。

【主な意見】

- 町田市観光まちづくり基本方針に、経済の活性化につながるような方向性を示すこと。
- 今後、どのような取り組みを進めていくのか整理しておくこと。
- 観光まちづくりの着実な推進に向けて、進捗管理の方法を検討すること。
- その他、指摘された文言の整理をすること。

【審議結果】

提案内容を承認する。上記意見に留意した上で進めていくこと。

議題 2：町田市教育プランの策定に向けた方向性・進め方について（学校教育部、生涯学習部）

【付議の目的】

○町田市教育プランの策定にあたり、その基本的な方向性や今後の進め方について、承認を受ける。

【提案の概要】

国の教育振興基本計画（第2期計画）が2017年度で終了し、2018年度から第3期計画となる。また、学習指導要領が2016年度に改訂され、小学校で2020年度、中学校で2021年度から実施される。

町田市の状況としては、年少人口が2025年までに約9.6%減少すると推計されており、児童・生徒数の減少に対応した活力ある学校づくりが求められている。

現行の「町田市教育プラン」（計画期間：2014年度～2018年度）の取組等から、①学力・体力の向上に向けた取組の充実、②学校と地域の双方で連携・協働を推進するための組織的・継続的な仕組みの構築、③学校教育分野における学校施設の改築や長寿命化、生涯学習分野における学習講座の地域展開や図書サービス再編等の検討、④生涯学習プログラムの参加者の減少や固定化、などの課題が生じている。

これらの教育環境を取り巻く状況や課題等を踏まえ、2019年度～2023年度の5年間を計画期間とした、新たな「町田市教育プラン」（以下、「次期プラン」という。）を策定する。

次期プラン策定にあたっては、町田市が目指すべき姿を表す「教育目標」、教育目標を実現するための指針である「基本方針」、具体的な施策の方向性を示す「政策」を基に、具体的な取組内容を、施策、事業の階層で体系的に整理する。

【主な意見】

○教育プランの策定にあたっては、市長部局が策定する次期「町田市教育に関する総合的な施策の大綱（以下、「大綱」という。）」と十分に調整を図り、考え方に齟齬が生じないようすること。

○資料に次期大綱の策定スケジュール、教育プランとの関係性について明記すること。

○次期プランの策定にあたっては、関係部署と調整すること。

○その他、指摘された文言の整理をすること。

【審議結果】

提案内容を承認する。上記意見に留意した上で進めていくこと。